

## 国保努力支援制度(市町村分) 令和8年度評価指標(令和7年度採点分) 結果概要

## 【点数・得点率】

R7年度: 555.64点 / 988点(得点率56.2%・全国順位22位)

→ R8年度: 530.00点 / 897点(得点率59.1%)

対前年度得点率 2.9%増加

## 【交付予定額】

R7年度: 645,993千円

→ R8年度: 694,392千円

## R8年度加点・減点について

## &lt;共通事項&gt;

- ・市町村の自己採点データを県国保課と国保連合会が共有し、市町村に対するヒアリングを実施
- ・県国保課・国保連関係課による加点に向けた個別アドバイスの実施

○全体的に加点が大きく伸びた項目及び減少した項目は見られず現状維持の形となった。

## &lt;個別事項&gt;

## ○R7年度実績(R6年度実施)に基づく減点

R8年度採点: 11市町村、103点減点

## ○減点の主な要因

- ・重複・多剤の取組など各市町村の事情により結果的に未実施となったことによるもの
- ・申請時に報告誤りがあり、予定していない事業を記載していたことによるもの

## 指標の変化について

○既存の指標において、市町村の取り組み状況を踏まえた点数配分の見直しや、より詳細かつ具体的な評価指標の追加がみられた。また、セルフメディケーションや地域フォーミュラリ等、医療費適正化に資する取組が重視される評価基準となった。

## &lt;主な項目&gt;

- ・特定健康診査と特定保健指導の実施率について、既存の項目に加え、実施率が連動した指標が新設
- ・セルフメディケーションの個々の被保険者に対する周知啓発を評価する指標、地域フォーミュラリの作成・運用に関する取組を評価する指標を追加
- ・リフィル処方箋に係る周知啓発について、評価対象となる取組を明確化し、バイオ後続品に係る周知啓発の内容を追加
- ・保険料(税)収納対策について、より実効性のある収納対策を行う観点から、国の通知に基づいた指標の見直しをし、具体的な内容を追加